

省エネルギー
操業改善
品質改善
設備改造

4. 工場見学

川鉄および川板・千葉 CGL

標準化委員会

標準化委員会 ISO 鉄鋼部会 SC1 分科会第 79 回会議
及び ISO 運営委員会 SC1 諮問部会第 19 回会議. 開催
日: 12 月 17 日. 出席者: 佐伯正夫主査/部会長 (新日
鉄), ほか 11 名.

1. SC1 分科会関係

(1) DIS 4938 (Ni-重量/滴定法) に対する日本回答案
の審議

(2) DP 9647 (V-原吸法) の最終 WD の審議

(3) 鉄鋼分析方法概要 (Technical Report) に対する
日本回答案の審議

(4) WG19 (Cr-原吸法) の国際共同実験要領の審議

2. SC1 諮問部会関係

(1) DP9441 (Nb-吸光法) の SC1 内投票結果の処理

についての審議

(2) 新設ワーキンググループの設置及び当該外国入手
資料の紹介

(3) 欧州出張報告

(4) ISO 規格制定状況の報告

(5) WG11 (Al-原吸法) の最終 WD についての事務
局作成案文についての審議

(6) 今年度業務報告案および来年度業務計画案の審議

鉄鋼基礎共同研究会

第 17 回鉄鋼の環境強度部会 開催日: 11 月 20, 21
日. 開催地: 新日鉄・八幡. 出席者: 駒井謙治郎部会長,
ほか 24 名.

1. 共通試験データ集出版について

2. 海洋環境強度データベース, 破面写真集 Vol2 の
出版について

3. 共通試験取りまとめ作業について

4. 取りまとめ結果の討論

5. 工場見学

新日鉄・若松海洋センター

新刊紹介

「設備診断技術ハンドブック」刊行のお知らせ

本会共同研究会設備技術部会において, 昭和 58 年より企画・編集を進めてまいりました「設備診断ハンド
ブック」が本年 12 月に刊行されることとなりました.

今日, 日本の産業界に於ては設備の自動化・高度化が進み, 鉄鋼業のみならず全ての業種で設備が生産活動
の主役を果すようになってまいりました. したがって設備の機能精度を維持するメンテナンス業務は極めて重
要なものとなつてきております. かつて「予防保全」というメンテナンス理論が日本に導入されて以来, メン
テナンスの理論・活動・システム等は, その重要性の認識とともに発展してきましたが, その経済性および信
頼性を追求した結果として, 近年「設備診断技術」が適用されるようになってまいりました.

本書は, 本会設備技術部会を中心に第一線の執筆陣によつて, 設備診断技術の現状と今後の動向について,
鉄鋼業はもとより, 各種機械・電気設備等広範な業種にわたつて 実例を豊富に盛り込み 集大成したものであ
り, 本技術の実践的なハンドブックとして広く御活用いただけるものと確信いたします.

本会では, 下記のとおり本書を購読される会員に特別価格を設けることといたしましたので, ご希望の方は
官製葉書にて本会宛お申込み下さい.

記

「設備診断技術ハンドブック」会員特価要項

1. 発行時期・体裁 昭和 61 年 12 月下旬発行, B5 判 350 ページ

2. 会員特価 8,800 円 (定価 9,800 円) 送料出版社負担

3. 申込方法 官製葉書にて, ご購入部数・送付先ご住所・ご氏名をご記入のうえお申込み下さい. (図
書は丸善より振込用紙とともに発送されます)

4. 申込先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 (〒100)
(社) 日本鉄鋼協会 庶務課 (担当 水野)

5. 支払方法 出版社より本書発送と同時に振込用紙をお送りいたしますので 指定口座にお振込み下さ
い.

6. 注意事項 会員特価は一般書店では取扱いをいたしませんので必ず本会へお申込み下さい.
なお, 発送等に関する問い合わせは下記へ直接お願いいたします.

(問い合わせ先) 丸善(株)出版事業部編集室 電話 03-272-0393 (担当 石寺)

(内 容)

1. 設備診断技術の概要
2. 回転機械診断技術
3. 静止機械診断技術
4. 電気設備診断技術
5. 油分析による診断技術
6. 鉄鋼における設備診断システム
7. 診断のための資料